

令和2年6月1日

新型コロナウイルス感染防止に対する本学の対応について

日本医療科学大学
学長 新藤 博明

新型コロナウイルス蔓延という非常な環境下のもと、緊急事態宣言が解除されたとは言え教職員各位も、感染の不安を抱きながら日々業務に励んでいることと思います。そのような環境下でも、大学運営と教育に惜しみなくご尽力いただいていることに感謝致します。

今回の、新型コロナウイルス感染症への対策として、新型コロナウイルス感染症防止対策本部を設置し、政府や埼玉県 の指針に従い、学生および教職員各位の安全確保を原則とした対応にあたっています。

先に述べた通り、全国の緊急事態宣言が解除され、政府は「新しい生活様式」に基づく行動を前提に、社会経済の活動レベルを段階的に引き上げることとしており、6月1日以降についても、都道府県をまたぐ移動や不要不急の外出等の自粛が要請されています。一方で新型コロナウイルスは第二波および第三波の襲来が懸念され、いま日本はこれを最小限に防御すべく国中を挙げての取り組みを始めようとしています。

本学においても各位が危機意識を持つことの継続に加え、しばらくは活動の制限や自粛を求めることとなりますが、学生に対しては規則的な生活リズムの維持、自宅学習への主体的な誘いといった指導・助言を継続してください。今年度の前期授業の実施については、本日より学内演習や実習についてのみ対面形式をとりますが、学生の通学を含め3密の絶対的回避など安全確保に努めてください。座学は Web を利用した「遠隔授業」により実施することを原則として前期終了時まで継続します。

また、自宅等において Web 環境等の問題で遠隔授業を受講することが困難となった学生には、ソーシャルディスタンス確保を徹底するなど安全策を講じたくうえで大学が指定する施設を一部開放し受講を認めます。

新型コロナウイルス感染症は、人を選ばず感染するリスクがあります。学生を含め教職員の皆さんには、自ら感染を防止することは言うまでもなく、大切な誰かに感染させてしまう可能性があることを自覚し、手洗い、うがい、外出時のマスク着用、不要不急の外出は厳に控える、検温など引き続き健康状態のセルフチェックを励行してください。

本日より学生の登校の一部解禁に合わせ、教職員の勤務についても、執務場所の分散、オンラインシステムによる会議の実施、テレワークの推奨等の感染防止に努めることとします。また、不特定多数が参加する行事・集会・イベント等への参加は、感染リスク等を考慮し自粛してください。学外来訪者についても、既に本学との実績のある取引先を除き当面の期間、本学への訪問を自粛いただくよう周知してください。特別な事情により来学希望の場合は、必ず事前に連絡するよう促してください。

オンライン授業に Web 会議等、これまで本学の教職員が経験値に乏しい事項に直面し各位にご不便をお掛けしている状況は承知していますが、これを機に将来、学生への教育支援体制として、本学の財産となるはずで。各位には、自身の健康にも留意しながらの取り組みとなりますが、難局を乗り越えるため、教職員一丸となり引き続き取り組みのほど、お願い致します。